自己評価結果報告書(令和4年度)

学校法人　山崎学園　山崎幼稚園

1．本園の教育目標

自他の尊厳を守り、自分を愛する様にあなたの隣人を愛しなさい。自分がされて嫌なことは、お友達にもしない。自分がされて嬉しいことは、お友達にもしましょう。とのキリストの愛の精神に基づく祈る心、愛する心、感謝する心を育てる。

2．本年度、重点的に取組む目標･計画

◆保育の質の向上

キリスト教保育年主題中心に月主題･月の願いを各学年で十分検討する。

◆安全管理の向上

全職員が安全管理について、一層の意思疎通に努めるため園内研修を実施する。

3．評価項目の達成及び取り組み状況

	評 価 項 目	取 組 状 況
ア	幼稚園教育要項、キリスト教保育指針の内容を十分検討し、教職員の共通理解を図る	学年ごとに毎月カリキュラム会において反省･評価を確認し、キリスト教の愛の精神での生きる力を持ちつつ人間形成の礎である幼児教育を目指し取組んだ。
イ	特別支援教育	担任教諭は、特別支援幼児に対応した個別の指導計画を学期ごとに作成、補助教諭が毎日の行動をノートに書き留める等連携のもと、専門機関とも連携を図り適切な個別対応に努めた。
ウ	預かり保育･子育て支援の充実	(1) 地域の子育て世代の保護者のニーズに対応した子育て支援を検討し、未就園児(0～3歳児)の保護者の交流の場を設けた。また、2～3 歳児の未就園児クラスを開設し、集団生活を体験する場を設けた。 (2) 在園児の預かり保育を午前7時30分(げんきっこ)から午後6時(どんぐりっこ)までと時間を延長し実施するとともに、長期休園の預かり保育にも積極的に取組んだ。
エ	安全管理及び個人情報の管理、防災マニュアルの作成	(1) ヒヤリハット報告の充実、安全自主点検の実施による施設整備を図り安全確保に努めた。 (2) 個人情報資料の保管場所等の徹底管理に努めた。 (3) 毎月の避難訓練をマニュアルに沿って実施し、緊急時の避難意識の高揚に努めた。 (4) 安全管理マニュアルの見直しを行った。
オ	施設改修の実施	(1) 本館トイレを乾式化、便器、扉の取り換え等改修し、より快適に使用できるようになった。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

(1) 全職員が本園の教育方針を理解･認識し、真摯な教諭集団として共に研鑽を重ね建学の精神を共に有し取組む事ができた。
(2) 子どもたちの遊びをより発展させる環境の整備･援助を必要とする幼児の適切な対応等に取組む事ができた。

5. 今後取組むべき課題

課　　題	具体的な取組み方法
施設整備(改修･補修)の実施	(1) B号館外壁塗装、2階の改修の実施 (2) 本館ベランダ改修の実施 (3) 本館外壁塗装、屋上防水改修の実施
行事、保育内容の充実	(1) 建学の精神のもと、尚かつ私学の独自性に配慮しつつ保育内容の一層の充実に努める。 (2) 行事中心の保育を回避し、子ども一人ひとりに寄添い充実した園生活が送られる様な保育に取組む。 (3) 個々の子どもの成長に向き合い必要に応じ臨床心理士との連携を深め適切な保育に努める。 (4) キンダーカウンセラー事業を通じ教諭が園児の日常生活を把握するよう努める。
子育て支援の充実	(1) 地域の子育て世代の保護者のニーズに対応した支援策の充実。 (2) 未就園児の保護者の交流の場として施設を提供し充実を図る。 (3) 子育て講演会の充実に努め、地域の子育て世代の保護者の積極的な参加を図る。

6、学校関係者の評価

(1) 就労の保護者が増える中、多様化する保護者のニーズに応じた支援が行われている。
(2) 子ども達の交流のみならず保護者の交流を促し、情報や育児スキルの発信がなされている。
(3) 日々の活動に「静」と「動」があり、大変良いと思う。
(4) 一人ひとりに寄り添った保育及び教育に取り組んでいる。
(5) 自然に囲まれた山崎幼稚園ならではの園庭で、山登りをしたり「どんぐり」などの実を拾って、のびのび体を使って遊べるところが良い。
(6) 自園給食は、高い評価を得ている。
(7) 防災について、毎月の避難訓練に加え、色々なパターンで取り組み続けて欲しい。
(8) 引続き、キリスト教の愛の精神に基づき、より一層質の高い保育を願う。

7. 財務状況

公認会計士･監事による監査により、適正に運営されていることが認められている。